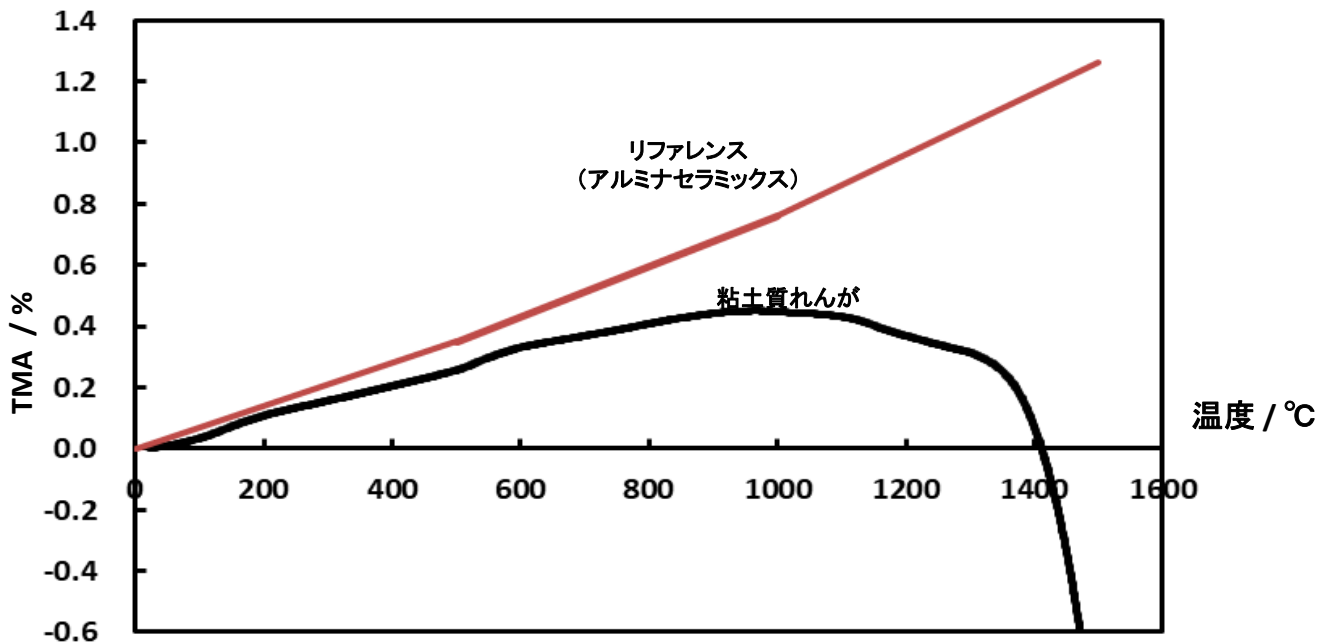


熱機械分析装置 (TMA)



設置 年度	2007年度
型 式	TMA4200SA
製 造 所	ブルカー・エイエックスエス
仕 様	高温炉 最高 1500℃ 発熱体: PtRh 超高温炉 最高: 1700℃ 発熱体: モリブデン 方式: 示差膨張方式 変位範囲: $\pm 2500 \mu\text{m}$
用 途 特 徴 など	アルミナセラミックスを基準物質として、試料を一定速度で加熱し、基準物質に対する試料の寸法変化を連続的に測定して線膨張率を求めます。 通常、微小荷重を負荷して実施する。

事例紹介



- ・試験条件: 試料形状5x5x15mm (15mm方向の寸法変化を測定)。
- ・負荷荷重: 0.004MPa
- ・測定方法: 試料とリファレンス(アルミナ)を同時に加熱し、昇温時の両者の膨張差にリファレンスの膨張量を加算することにより、試料の膨張率(TMA)を求める。